

INTEGRATED
REPORT
2021

Sanyo Homes Corporation

人と地球がよろこぶ住まい

サンヨーホームズは「住まい」と「暮らし」のお困り事をお客さまと一緒に解決し、住まい方の変化にも常に身近で寄り添える一生のパートナーでありたいと考えます。

地球環境の保全と人々の安全と安心を守る「エコ&セーフティ」な住まいづくりとお客さまの暮らしに役立つ様々なご提案、さらに社会のニーズに応える事業を通じて、人生の新しい“よろこび”を創造します。

Vision

経営理念

私たちは住まいづくりのプロとして
お客様のウォンツを満たし
「快適空間の創造」と
「退屈しない人生の提案」
により顧客満足の上昇を図る

Mission

経営指針

For the best life
総合「住生活」提案企業
お客様のよりよい人生のために
生涯にわたるサポートをめざします

Value

事業コンセプト

エコ&セーフティ

環境・安全・安心

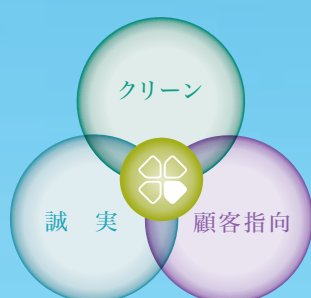


行動規範

サンヨーホームズグループは、「お客様満足の上昇」を経営理念とし、「クリーン」「誠実」「顧客指向」に基づいた「行動規範」のもとオリジナルカルチャーを醸成し、人権の尊重、法令遵守の精神の徹底を図り、社会的倫理や良識に従い、より良い社会の構築と、誠実に社会責任を果たすことを目指して、積極的に行動します。

1. お客様の信頼
2. 法令遵守
3. 人権の尊重
4. 公正な取引
5. 安全で快適な職場づくり
6. 環境への配慮
7. 地域社会との共生
8. 反社会的勢力の排除
9. 説明責任の履行

オリジナルカルチャーの醸成



クリーン

1. 私たちは、良識に基づく誇りと品位を持った行動をします。
2. 私たちは、ルールを守りフェアで信頼される行動をします。
3. 私たちは、客観的視野に立ち公正で見識ある行動をします。

誠実

1. 私たちは、「私が責任者」の意識を持って最後までやり遂げ見届けます。
2. 私たちは、思いやりのある丁寧なきめ細かい行動をします。
3. 私たちは、スピーディで質の高い業務遂行をします。

顧客指向

1. 私たちは、お客様のウォンツを満たすことを最優先に行動します。
2. 私たちは、お客様の安全安心を守り期待を裏切らない仕事をします。
3. 私たちは、お客様の感動満足を目指した質の高い商品・サービスを提供します。

■ コミュニケーションツール



▶ INTEGRATED REPORT



▶ コーポレートサイト
<https://www.sanyohomes.co.jp>



▶ IR情報
<https://www.sanyohomes.co.jp/ir/>



▶ SANYOHOMES PHILOSOPHY

CONTENTS

01-02	企業理念	19-20	コーポレート・ガバナンス
03-05	トップメッセージ	21-22	連結財務サマリー
06	TOPICS	23	会社概要 / 子会社 / 関連会社
07-10	サステナビリティの取り組み	24	株式の状況 / 株主メモ
11-12	沿革		
13	戸建住宅事業		
14	賃貸・福祉事業		
15	リフォーム事業		
16	リニューアル流通事業		
17	マンション事業		
18	ライフサポート事業 / フロンティア事業		

[編集方針]

当社では、財務情報と環境・社会・ガバナンス(ESG情報)などの非財務情報を一冊にまとめた「INTEGRATED REPORT2021」を発行しました。株主・投資家の皆さまをはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまと対話をするためのツールとして活用し、企業価値の向上に役立てていきます。

期間：2020年度(2020年4月～2021年3月)

発行：2022年3月

範囲：サンヨーホームズ株式会社及びサンヨーホームズグループ



取締役会長
田中 康典

代表取締役社長
松岡 久志

社会課題の解決とグループの成長の両立を目指して

快適な空間と退屈しない人生を提案する

サンヨーホームズグループは、住まいと暮らしという範疇で事業を展開している会社です。家というのは単なる箱ではなく、

人が生活を演じるための舞台装置です。その舞台はもちろん快適な空間でなければなりません。その舞台上で退屈しない人生を送ることができてこそ、そこで暮らす人の生活は充実します。つまり、私たちの仕事は、快適な空間と退屈しない人生を提案することだといえます。そして当社が手がける家は、地球

住まいと暮らしにおいて、環境と共生しながら、 人々の安全・安心を守り続けていきます。

環境の保全にも配慮したものでなければなりません。これらの思いを込めて「人と地球がよるこぶ住まい」という企業理念ができました。

さらに私たちは、永続的に事業を展開していくうえでの背骨となる事業コンセプトとして「エコ&セーフティ」を掲げています。そこには、環境と共生しながら人々の安全・安心を守り続けるという当社の使命が込められています。サンヨーホームズが新体制で発足した2002年から戸建て住宅において太陽光発電システムを標準仕様にするなど、業界に先駆けてエコの取り組みを進めてきました。また建物の材料には独自の軽量鉄骨を採用することで、お客様の生命、財産をしっかり守っています。

菅元首相は就任時の所信表明演説で「2050年までにカーボンニュートラルを実現する」ことを宣言しました。また、近年は台風が巨大化しているほか、近い将来高い確率で巨大地震が到来すると予測されるなど私たちは自然災害の脅威にさらされています。「エコ&セーフティ」のコンセプトはますます重要になってくると考えています。

お客様のよりよい人生のために 生涯にわたるサポートを

私たちは総合「住生活」提案企業として、お客様のよりよい人生のために生涯にわたるサポートを目指しています。お客様は、住まいと暮らしにまつわるお困りごとをたくさん抱えておられます。高度成長期の住宅供給が追いついていない時代は、すぐにでも家を手に入れられないものかというのがお困りごとでした。それが今や空き家が増え、一人暮らしの世帯が多くを占めるようになりました。それぞれの生活の仕方や嗜好もすっかり多様化しており、住に求めるニーズもそれぞれに異なります。

そこで当社グループではそうした多様なニーズをふまえながら「戸建住宅」、「マンション」に加え、中古住宅の購入を物件探しから建物検査、リノベーション、アフターサービスまでをワンストップでサポートする「リニューアル流通」、古くなったものを変え、より生活しやすい状態に改装、一新し、住み続けていただく「リフォーム」、所有されている土地活用の方法として収益物件のご提案を行う「賃貸・福祉」、エリア管理に加え、デイサービス施設や保育園などの運営や、ハウスクリーニング事業などを行う「ライフサポート」、住宅事業で培った技術を広く一般企業に提供する「フロンティア」などに事業を広げてきました。

こうしてお客様としっかり向き合いながら、細分化された課題をしっかり把握し、お客様と一緒に解決してきました。お客様の一生のパートナーとしての役割を果たしながら、時代の要請に応え続けていることこそが当社グループの強みだと考えています。

社会的価値と経済的価値を両立

国連が掲げるSDGsにおいて世界が手を携えて喫緊に解決すべき17のテーマが掲げられているように、私たちを取り巻く社会もさまざまな課題を抱えています。私たちは住まいと暮らしに関わる事業を通じてそれらを解決し、世の中に対して社会的価値を生み出すと同時に、当社グループに収益をもたらす経済的価値についても同時に創造していかなければなりません。

私たちが着目している社会課題をいくつか挙げ、そこで当社グループがかかわることのできる事業を以下に紹介していきます。

まず「女性に負担の多い労働や家事・子育て環境の改善」の

テーマでは、保育園の運営やハウスクリーニング事業などがそれに当たります。女性に偏りがちな家事・子育ての負担をこれらの事業を通じてサポートし、それによってできた時間を仕事や自分のやりたいことに充てられるようにできればと考えています。

「超高齢化社会が進む社会」のテーマにおいては、リハビリ型デイサービスを中心とした事業を展開し、「身体機能」「日常生活」「コミュニケーション」の「3つの向上」に取り組んでいます。「家事卒業」をテーマとした、シニア向け分譲マンションも手がけているほか、高齢者の転倒による衝撃を低減する装着型のロボットも開発、実用化しています。

「環境問題・省エネルギー対策」のテーマでは、2016年から全戸建住宅にZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を標準採用しています。また、既存住宅の流通を伸ばすことで住み継いでいただくとともに、圧倒的多数を占める既存住宅について省エネルギー対策に取り組むことが環境負荷の低減には欠かせません。

「自然災害の増加・住まいの老朽化」のテーマに対しては、住まいの診断システム「住まいのドック」を7年前に始めました。ドローンを飛ばすなどして家を診断し、問題のある箇所をレポートして補強などを行っています。

「地方の衰退・都市集中の問題」のテーマに関しては、このほど岡山県備前市の観光情報センター2階部分にシェアオフィスをオープンしました。窓外には出入りする船が見え、都心のオフィスや自宅では味わえない環境を創出しています。こうした地方部におけるシェアオフィス整備の取り組みを今後も積極的に進めていきます。

また「人口の減少」については、建築現場における労働者不足に備えるべく、2013年に若手技能者の養成を目的とした「サンヨーホームズ・カーペンタースクール」を開校しました。自社の技能職育成に努めるほか、多くのベトナム人も参加しており、海外事業につながる可能性も秘めています。

2021年1月にはCSV経営を事業に落とし込むべく、サンヨーアーキテック株式会社を新たに設立しました。軽量鉄骨架構体システムを住宅、事務所、倉庫などに展開する軽量鉄骨OEM事業、オリジナルの太陽光システムなどを提案するエコ

エネルギー事業、施工請負・技能職人材育成事業を行います。これまで社内に蓄積された技術を広く社会に応用することで事業機会を創出していきます。

「新たに生じる消費」をビジネスチャンスに

もちろんお客様と対話することのできる貴重な機会である対面の営業やイベントができなくなっていることにもどかしさは感じます。

コロナ禍における消費には、「消えてしまう消費」「先送りされた消費」「新たに生じる消費」の3つがある、と私どもは考えています。当社グループの住宅事業は「先送りされた消費」に含まれ、いずれ顕在化していきます。また、先ほど挙げた備前市におけるシェアオフィスの取り組みなどのように「新たに生じる消費」も今後取り込んでいくことが可能です。コロナ禍をきっかけに住まいと暮らしに関わる見直しが進みつつあり、これは当社グループにとっての大きなビジネスチャンスだと考えています。

持続的成長を目指して

2021年5月26日に新中期経営計画を公表いたしました。これまでは量を追う数値目標を掲げてきましたが、これからは質、すなわち利益にこだわり、かつそれを維持していく持続的成長を見据えた目標を掲げ、実現させていきたいと考えています。

そのためにはまず私たちがお客様のところへ出向いていき、対話の中からしっかりと潜在需要を掘り起こして顕在化させていく必要があります。そしてお客様と社会が抱える課題を解決することによって企業価値を向上させ、持続的成長につなげていくことで、株主・投資家の皆さまの期待に応えていきたいと考えています。

TOPICS

2022年2月、環境大臣が認定する『エコ・ファースト企業』に認定されました。



エコ・ファーストの約束を交わす田中康典会長(左)と中井徳太郎環境事務次官(右)



エコ・ファースト・マーク

2008年4月にスタートした「エコ・ファースト制度」は、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など自らの環境保全活動に関する取り組みを環境大臣に約束し、環境分野において「先進性、独自性、波及効果」のある事業を行っている企業(業界におけるトップランナー企業)を環境大臣が認定する制度です。

■ エコ・ファーストの約束 – 環境先進企業としての地球環境保全の取り組み –

サンヨーホームズグループでは「エコ&セーフティ」の事業コンセプトのもと、戸建住宅や賃貸集合住宅のZEH標準化、住宅ストックの耐震・断熱性能の向上及び既存住宅流通の仕組みづくり、工場・倉庫へのエコエネルギー提案等、各事業においてさまざまな環境負荷の低減に対する取り組みを展開してまいりました。この度の「エコ・ファースト企業」認定を機に、環境先進企業として環境保全に関する取り組みをより一層強化してまいります。

1. パリ協定における日本の温室効果ガス削減目標39.3% (家庭部門) に対し、戸建住宅では2013年→2030年40%削減に取り組み、さらに2050年までに温室効果ガスの排出量を実質0「ゼロ」を目指します。
2. 社外または従業員に対し、環境意識の啓発を図る活動を積極的に推進します。
3. 特定化学物質等の取り扱いについて、SDS等を活用した有害性情報の収集・整理を行い、有害リスクのある化学物質の使用削減を推進し、適切な情報提供を行います。





総合「住生活」提案企業として、事業コンセプトである「エコ&セーフティ」を実現するため、ZEH住宅・ZEH賃貸住宅を供給するとともに、ZEHマンションにも取り組みを行ってまいります。こうした事業を通じて「人と地球がよるこぶ住まい」を供給することで、CO₂排出削減や気候変動リスクへの対応を図り、社会課題を解決し企業としての利益を創出する「CSV(Creating

Shared Value)経営」を実践してまいります。また、自社工場においても、再生可能エネルギーを導入するなど、CO₂排出削減やコスト削減にも取り組んでおります。今後も、事業を通じて「持続可能な社会(サステナブルな社会)」の実現を目指してまいります。

■ 地球の未来を幸せにする暮らしづくり

人と地球がよるこぶ未来をつくります。

サンヨーホームズグループは地球環境を守り、人々の安全・安心を守る「エコ&セーフティ」をコンセプトに、創業以来環境への取り組みを重視してきました。

戸建住宅では以前より進めるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の標準化をさらに拡大し、新築以外の建物でも最大限にZEH対応仕様を追求します。建物診断やリフォームの充実により既存建物

の再活用と性能向上を押し上げ、廃棄物やCO₂排出を削減。2050年に向けて脱炭素化の実現を目指します。

これからも人々と地球環境が無理なく共存し、お互いを幸せにする「人と地球がよるこぶ住まい」をご提供することで、誰もが安心して暮らせる未来づくりに貢献します。

■ CSV経営

社会を取り巻く問題を解決して暮らしやすい未来へ。

サンヨーホームズが目指す目標は人々や社会の役に立ち、必要とされる企業となること。現代社会を取り巻く問題に取り組み、新たな可能性を実現するためにCSV経営を推進しています。CSV経営とは社会課題を事業機会として捉え、当社の強みや資産を活かして解決することで、社会価値と経済価値の両方を創造する経営モデルです。住宅で蓄積したさまざまな技術やノウハウを、多彩な事業分野において発揮しています。

■ AI/IoT技術の成長

IT技術によって
小さな子どもから高齢者まで
安心・便利で楽しい毎日を。



- AIスピーカーとIoT技術でオートメーションな住まいを提案
- シニアにやさしいIoT開発(見守り、在宅介護支援など)

■ 環境問題・省エネルギー対策

エコの実績を活かし
より環境や家計にやさしい
ZEH住宅の普及へ。



- ZEH対応No.1企業へ ZEH、ZEH+、ZEH-M、さらにLCCM住宅への取り組み
- スマ住宅、スマートタウンの推進
- 「省CO₂先導事業」「都市型エコ住宅供給事業」などの推進
- 電気自動車と住まいが連動するV2Hの推進
- 企業へのトータル・エネルギー・ソリューション提案

■ 超高齢化が進む社会

健康寿命を延ばして
充実したシニアライフに
介護や見守りもサポート。



- シニアマンションの全国展開
- アクティブシニアを維持するための健康サロン展開
- 介護ロボットの実用化
- 見守りサービスシステムの推進
- 賃貸住宅・福祉施設建設の拡大

■ 女性に負担の多い労働や家事・子育て環境の改善

共働き世帯が働きやすく
家事や育児がラクになる
社会と住まいを。



- 保育園の自主運営拡大認可保育園(60名以上)への挑戦
- 共働き世帯が子育てしやすい住まいの開発

■ 自然災害の増加・住まいの老朽化

災害に負けず安全で快適に
暮らせる住まいを
長期にわたりご提案。



- 地震対策への取り組み
- 「住まいのドック」活用による耐震補強
- 多目的利用が可能なシェルターの提案
- リニューアル流通事業の推進

■ 人口の減少(特に働き手世代の減少)

業務の効率化とともに
伝統技術を伝えて
工事のプロを育成します。



- カーペンタースクールの継続(現場技能員の養成)
- 海外技能実習生の受入れや採用

■ 地方の衰退・都市集中の問題

独自の魅力がある
地方創生プロジェクトや
街づくりを進めます。



- 岡山県備前市での健康と暮らし向上のための街づくり
- 和歌山市での大規模・複合開発への取り組み
- 多世代が交流できる街づくり

■ 太陽光発電システム・蓄電池等エコエネルギー設備の販売拡大及び軽量鉄骨躯体の販売・施工

100%子会社のサンヨーアーキテック社を設立し2021年4月より営業を開始。

当社の軽量鉄骨プレハブシステム「GS(グランドシンメトリック)フレームシステム」の販売・施工により建築物の長寿命化を図りCO₂削減に寄与。



■ シニア向けマンション

高齢化社会が進む中、快適なシニアライフの実現に向けて、「家事卒業」をテーマにレストランや温泉大浴場(人工)をはじめ日々を彩る共用施設が豊富なシニア向け分譲マンション「サンミットシリーズ」を展開。

24時間スタッフ常駐・独自の医療提携など健やかな心身を見守る安心体制も充実。



サンヨーホームズのZEH住宅



ZEH住宅の普及

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

高い断熱性能を備えたサンヨーホームズの鉄骨住宅は冬は暖かく、夏は涼しく一年を通じて快適に過ごせる住まい。電気をかきこく使う省エネ設備と太陽光発電で光熱費ゼロはもちろん、プラス収支も実現。

ZEH住宅の推進

戸建住宅、賃貸住宅、マンション

■戸建住宅:100%を目指す

当社戸建住宅のZEH比率の推移(契約ベース)

2018年度 38% ▶ 2019年度 54% ▶ 2020年度 75% ▶ 2021年度 上期累計93%

■賃貸住宅:賃貸集合住宅のZEHを4月より標準化

2021年度上期実績累計はガレージハウスを除き100%を達成

■マンション:原則、ZEH-Mへと取り組み

■ 環境配慮製品の紹介

新・健康住宅 「元気いっぱいの暮らし」

新・健康住宅「元気いっぱいの暮らし」では健康に欠かせない3つの要素をご提案。暮らし続けることでみんなの元気がどんどん増える住まいを目指します。



空気環境

水や食べ物にこだわるように空気にこだわる

危険なウイルスや菌、アレルゲン物質を住まいに侵入させない水際対策や、室内に入り込んだ汚れを家全体できれいにします。

温熱環境

暑さや寒さのストレスをなくして温度を快適に保つ

高気密高断熱のZEH住宅を土台に、空調室と非空調室の室温差を抑える独自技術や、室温に影響を与えにくい換気により、一年中、心地いい温度に保ちます。

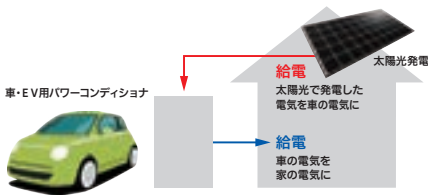
空間環境

暮らしやすさと安全を高めるあかりを取り入れる

生活のシーンに合わせて最適なあかりをプランニングし、ストレスの軽減を図ったり、非居室空間での自動オンオフ照明により消し忘れや転倒を防ぐことで、健康と安全をサポートします。

V2Hで変わる暮らし life style KURASITE (ライフスタイルクラシテ)

電気自動車と住まいが連動することで可能となる新たな暮らし提案。



1. 家計に優しい

エネルギーの自給自足を実現！
またEV車は中古車として売れるので経済的

3. いつも安全で安心

停電時でも200VIHで料理ができ、200Vエコキュートでお風呂に入れ、リビングのエアコンが動かして快適

2. 地球に優しい

ZEH・PV・EVでガソリンも使わず
自然エネルギーでまかなうのでCO₂排出ゼロ

4. どこでも操作

スマホで室温確認しエアコンON、お湯はりON
忙しいママはその場でできるので大変便利

Owner's Voice



Data 大阪府・F様邸

家族構成／6人
延べ床面積／149.06㎡
太陽光発電システム搭載容量／6kW

6人家族で光熱費収支がプラスに。
ZEHの効果を実感しています。

建て替えるなら「大きな地震の後も普段通り生活できる家」を大前提として、地震対策に力を入れる鉄骨住宅メーカーのサンヨーホームズさんにお願しました。鉄骨住宅への先入観として「寒い」ことがよく挙げられますが、そんなことは全くありません。優れた断熱性能のお陰で、寒い日の朝方でも16～17℃を保っています。さまざまな設備を導入する必要のあるZEHですが、高性能な設備で無理なく節電できるだけでなく、太陽光発電システムによって電気代を賄え、さらに売電収入も得られることから大変助かっています。子どもたちの節電意識も高まり、省エネ効果を実感しています。

以前の住宅	
年間光熱費／	420,000円
売電収入／	0円
-420,000円	

サンヨーホームズのZEH	
年間光熱費／	146,000円
売電収入／	198,500円
+52,500円	

HISTORY サンヨーホームズのあゆみ

1969

クボタ

軽量鉄骨・プレハブ住宅事業のクボタハウス株式会社を設立

1987

三洋電機

株式会社三洋エステートを設立

1995

三洋電機

分譲マンション事業を開始

1997

クボタ

クボタリフォーム関西株式会社を設立

2001

クボタ

太陽光発電システム標準搭載の戸建住宅を販売開始

2006

4電力会社と共催で「オール電化住宅まつり」開催（以降毎年2回開催）

ブリヂストン社との共同開発による住宅用オリジナル制震システム「SanDouble-X」を導入し戸建住宅に標準採用

総戸数1,163戸 10.1haのスケールを誇る駅前複合都市プロジェクト「サンマークスだいにも」始動（大阪府守口市）



2007

全戸建住宅で「緊急地震速報システム」を標準採用

2008

環境共生認定住宅「CASBEEすまい【戸建】」評価システムを導入

太陽光発電「グリーン電力証書」に対応した次世代ホームネットワーク「SANGENiS」を開発

国土交通省 第1回「住宅・建築物省CO₂先導事業」（以降4年連続採択）「長期優良住宅先導事業」採択（以降3年連続採択）

居宅介護支援事業所を併設したシニア向けマンション「サンミット生駒ザ・ゲート」を販売開始



2013

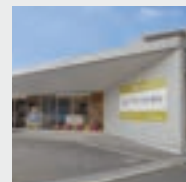
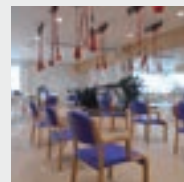
東京証券取引所市場第二部上場

大阪市先導的都市型エコ住宅供給事業者に選定されたスマートハウス分譲住宅「スマエタウン・アーバン鶴見緑地」を販売開始

既存住宅リニューアル流通サービス組織「サン住まいリング」発足

建設業界での徒弟制度衰退により若手技能者の養成を目的とした「サンヨーホームズ・カーペンターズスクール」を開校

介護福祉事業のリハビリ型デイサービス「健康サロン サンアドバンス緑ヶ丘」を開設



2002

株式会社クボタより三洋電機株式会社への株式譲渡により、商号を三洋ホームズ株式会社と変更

経営理念・経営指針・事業コンセプトを制定

「こどもECO絵画コンクール」開始（以降毎年開催）



2003

株式会社三洋エステートの住宅事業とマンション事業を三洋ホームズ株式会社に統合

三洋ホームズ株式会社
総合「住生活」提案企業として始動

2005

全戸建住宅でオール電化を標準仕様

2009

マンション管理の三洋ホームズコミュニティ株式会社を設立

大切な暮らしを住み継いでいく「くらし」リレーシステムを導入

「住み替えサポートシステム」を導入

全国初の「防犯優良マンション」設計段階審査に「サンメゾン高畑ELDO」が適合

戸建住宅「太陽の恵み〜トリプルエナジー±0」が新エネ大賞と環境大臣表彰をダブル受賞

戸建住宅にオンリーワンの暮らしを提案する「life style KURASI'ITE」を導入

life style
KURASI'ITE

2011

新ブランドマーク、ロゴ、コーポレートスローガン「For the best life」を制定

日本初各戸太陽熱利用エコキュートマンション「THE SANMAISON神宮前四丁目ELDO」販売

日本初 Android家庭用ロボット搭載のスマートハウスを発売



SANYO HOMES

2012

賢いスマートハウス「スマe」を導入

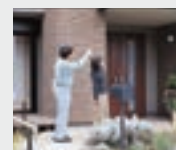
日本初 戸建住宅の鉄骨構造体に「緩み止めネット」を標準採用

住まいの診断システム「住まいのドック」を開始



グループ子会社をサンヨーリフォーム株式会社とサンヨーホームズコミュニティ株式会社に社名変更

サンヨーホームズ株式会社
へ社名変更



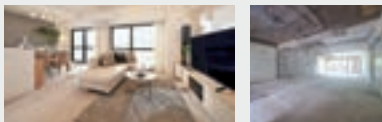
2014

東京証券取引所市場第一部指定

中部電力株式会社と共同出資による暮らしのお役立ちサービスを提供する「e-暮らし株式会社」を設立

かんでんEハウス株式会社と業務提携

中古マンションリノベーション事業に参加
兵庫県宝塚市・東京都新宿区にて販売開始



保育事業第1号となる「大日サンフレンズ保育園」開園

日立コンシューマ・マーケティング株式会社と業務提携 新型HEMS「スマeHEMS」を販売開始

2015

サンヨーホームズ初となるタウンハウス「スマeタウン足立竹ノ塚～芽ぐみの杜～」販売開始

日本初、多世代共生型マンション「サンフォーリーフタウン桜ノ宮」(総戸数287戸)分譲開始



新キャッチフレーズ

「人と地球がよろこぶ住まい」発表

2017

サンヨーホームズ株式会社のリフォーム事業をサンヨーリフォーム株式会社に統合

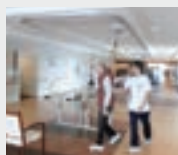
三重県桑名市で新たなタウンハウス「スマeタウン・アーバンコミュニティ桑名」を販売開始

戸建注文住宅に防災用シェルターをラインアップ

「life style KURASI'TE V2Hで変わる暮らし」を販売開始



株式会社日立製作所と屋内移動支援ロボットと画像解析システムを活用した高齢者向け生活支援サービスの実証を開始



2018

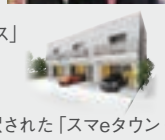
株式会社日立製作所と協創パートナーシップを締結し「高齢者向け生活支援サービス事業協創プロジェクト」を開始

岡山県立大学、岡山県備前市と「健康と暮らしの向上のためのまちづくり産学官包括連携協定」を締結

暮らし提案型賃貸住宅「プレミアムガレージハウス」竣工



日本初の低・中層ZEH-M支援事業分譲部門に採択された「スマeタウン・アーバンコミュニティ桑名South」を販売開始



2020

戸建住宅に防災と日常を両立した地下室のある暮らし「MultiShelterマルチシェルター」を発売

駅直結のシニア向け分譲マンション「サンミットひたち野東ステーションフロント」が竣工

戸建住宅の「全館空調Lite(ライト)」が第14回キッズデザイン賞を受賞

「働く」×「暮らす」を両立するワークスタイル提案「ファミリーSOHO」を発売

戸建住宅に業界トップクラスの最長7.28mワイドスパンの大空間「ゆとりモア」を発売

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー5年連続「優秀賞(特別優秀賞含む)」受賞「特別優秀企業賞」受賞

2021

サンヨーアーキテック株式会社を設立

2016

幼児期の言語感覚と運動機能を育てる「サンフレンズプリスクール」開園



海外事業初の現地拠点としてベトナム ハノイ市に駐在員事務所を開設

ベトナム ホーチミン市で分譲マンション開発及びマンション・ビル管理業務に着手

全戸建住宅にZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)を標準採用



2019

「軽量鉄骨造とRC造のハイブリッド構法」を開発、ロングスパンの無柱空間を実現

シニア向け分譲マンション「サンミットひたち野東ステーションフロント」が国土交通省「令和元年度サステナブル建築物等先導事業(次世代住宅型)」に唯一採択

life style KURASI'TE「健康住宅 元気いっぱい暮らし」を発売

サンヨーホームズコミュニティ株式会社が、全国初となる名古屋市とファミリーマートが連携した店舗一体の認可保育園「葵サンフレンズ保育園」の保育所整備事業者として選定

主な受賞歴

ECO

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー6年連続「優秀賞(特別優秀賞含む)」受賞!「特別優秀企業賞」受賞!



「新エネ大賞」「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞



2009年 3つの太陽エネルギーをフル活用〜トリプルエナジー〜0

SAFETY

「キッズデザイン賞」受賞



2016年 子育てしやすい暮らし
2018年 こちshAir(シェア)
2019年 IoTで見守る暮らし

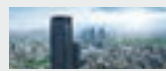
DESIGN

「グッドデザイン賞」受賞



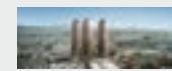
1999年 戸建 ディーセント
2001年 戸建 セレブ
2004年 戸建 ロギアタイプE
2009年 マンション The Kitahama

「大阪市ハウジングデザイン賞」受賞



2009年 マンション The Kitahama

「大阪府都市緑化フェア実行委員会会長賞」受賞



2011年 マンション サンマークスだいにち

品川区「みどりの顕彰制度」に基づく「緑化賞」受賞



2009年 マンション ウェストレジデンス大崎

OTHER

労働衛生管理活動が評価「厚生労働大臣表彰(努力賞)」受賞



2001年 枚方工場(現P&F本部)

「SAN・シェアオフィス 日生」開設



エコ&セーフティな住まいづくり。

大地震などの災害から家族の安全を守り、防犯にも万全で安心な住まい。ふだんの暮らしが快適・健康で環境にやさしいエコな住まい。子どもの成長や介護などのライフスタイルの変化にも柔軟に対応し間取りを変えられる住まい。さらに、光熱費などのランニングコストを抑え、将来のメンテナンス性に優れた“年単価発想”の住まい。高度な技術と優れた素材・部材、独自のシステムで、家族一人ひとりの願いに寄り添って居心地のよい快適で健康的な暮らしを実現します。

■ 創エネルギー

太陽光、太陽熱、大気熱で光熱費ゼロ、CO₂ゼロを目指し、家計と環境に配慮した住まいを実現します。

■ 省エネルギー

高効率な設備機器や断熱性に優れた仕様でエネルギーを節約し、環境への負荷を減らします。

■ 安全な住まい

万一の自然災害にも負けない強さを備えつつ、健康的な暮らしを実現するための工夫も凝らしています。

■ 安心できる住まい

充実した防犯仕様やセキュリティシステムによって、ご家族の暮らしに安心をお届けします。

■ 年単価発想

建築費などの初期費用と光熱費やメンテナンス費など、お住まいになる年数で割った費用。建てた後のことも考えた、維持費のかかりにくい質の高い住まいを実現しています。

受注高 **7,194** 百万円
前年同期比 Δ **3.4%**

売上高 **7,242** 百万円
前年同期比 Δ **17.1%**



ハイブリッド耐震システム

独自開発の「ダイナミックダンパー」。揺れを最大50%削減します。



ハードロックナット

新幹線やスペースシャトルの発射台にも採用される、ゆるみ止めナットを採用。

life style 
KURASITE

お客様のご要望を最大限に反映し、理想の暮らしを実現する住まいをご提案。



真に価値のある資産活用をサポート。

次世代へ大切な財産である土地をしっかりと引き継ぐには土地活用が重要です。それぞれの立地、状況、目的に応じ、賃貸住宅から介護・福祉施設、保育・児童施設など最適な活用策を提案いたします。

■ 高品質な賃貸住宅

地域や土地の条件など入居者さまのニーズに最適な賃貸住宅を提案します。通常の賃貸住宅のみならず、テーマ性のある賃貸住宅として、ガレージハウス*も展開しております。ガレージハウスとは、1階にガレージ、2階に居住空間を備えた賃貸物件で、車好きの方、趣味のスペースが欲しい方の高い支持を得ており、入居希望が途切れない人気物件で、オーナーさまと入居者さま、双方の満足度の高さが長期にわたり安心感ある安定した賃貸経営を可能にします。

※ 株式会社プレミアムガレージハウスの登録商標です。

■ 介護・福祉施設

デイサービスセンター、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など、さまざまな施設を提案・施工してきたノウハウを活かし、高齢化社会の地域に貢献し、事業者さま、入居者さま、利用者さまの視点に立った配慮が行き届いた、介護・福祉施設をご提案します。

■ 保育施設

保育園やプリスクールなどの企画、建築、運営に豊富な実績をもち、各地域の待機児童問題を解消する多様なニーズに応え、子どもたちがのびのび成長できる保育の場を実現し、地域に必要とされる施設をご提案します。

受注高 **5,288** 百万円
前年同期比 Δ 34.9%

売上高 **7,544** 百万円
前年同期比 Δ 15.8%



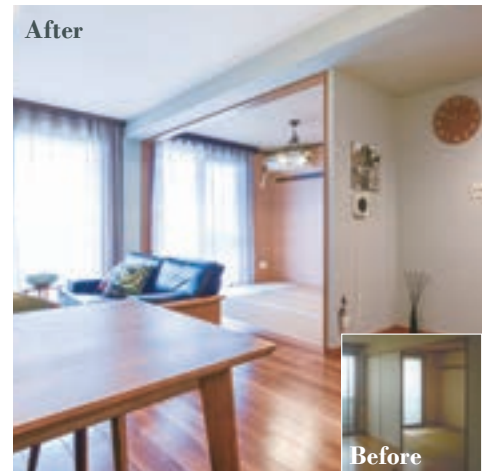
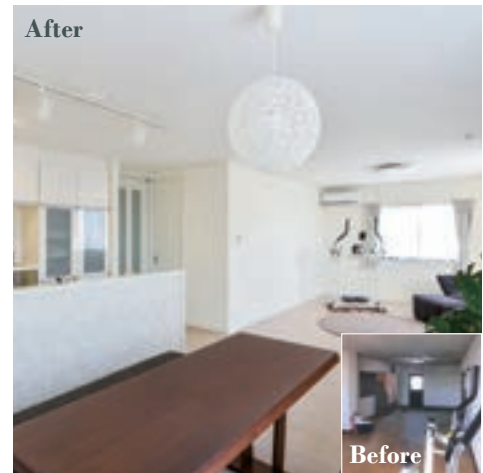
賃貸併用住宅

1階・2階を賃貸に、3階を住居に。家賃収入をローン返済に充てられる土地活用。



単身者用マンション

女性目線のデザインや工夫が行き届いた看護師寮のニーズに応える3階建てマンション。



暮らし手の想いを大切に 住まいや店舗、施設、幅広いリフォームに対応。

家族構成やライフスタイルが変われば、理想となる空間も変わってきます。暮らし手の想いを大切にご家族が快適で安全に暮らせる住まいづくりのお手伝いをいたします。リフォームでも基本はエコ&セーフティ。エコリフォーム(創エネルギー、省エネルギー)、セーフティリフォーム(安全・安心)、くらしリメイク(建替え・住み替えをしなくても現在のお住まいをまるごとリノベーションしてまるで新築のように甦らせたり、二世帯住宅や賃貸併用住宅など用途を変えたリノベーションにも対応し、使える部材を残してそのまま活用するので、建替えよりもコストを大幅に抑えることができます。)など、人と地球にやさしい住まいづくりをご提案いたします。

■ 建物診断(住まいのドック)

建物の劣化状況を調査し、耐震性を診断して補強工事をご提案するシステムです。経験豊かな専門技術スタッフによる現地調査と耐震診断ソフトによる解析で、建物の状態を徹底分析し、「診断報告書」を作成。改修が必要な場合は改修プランをご提案して施工を実施します。リフォーム工事をしていただく施工内容を保証する「保証書」を発行し、状況に応じたアフターメンテナンスも行います。

受注高 **5,605** 百万円※
前年同期比 **0.4%**

売上高 **5,463** 百万円
前年同期比 **△ 9.7%**

※ 前年受注高には、内部取引を含んでおります。



住まいのドック

もしもに備えて「住まいの健康診断」を。時を経ても安全・安心な建物を守ります。



安心できる。住まいの流通サービス。

人口減少という社会構造の変化により、空き家の増加が社会問題となっています。住宅取得についても新築のみに依存するのではなく、当社が全国で展開する不動産リニューアル流通のサービス提供組織「サン住まいリング」を活用し、既存住宅の流通+リノベーションという新しい取得方法をご提案します。

受注高 **788** 百万円
前年同期比 **2.0%**

売上高 **851** 百万円
前年同期比 **21.7%**

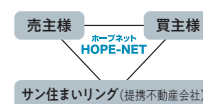
■ 中古住宅を想买いたい方

新築住宅を計画する際、ご予算や土地探し、間取りなど、なかなか思い通りにいかないことも。サンヨーホームズでは既存住宅のリノベーションで新しい暮らし方をご提案いたします。不安の多い既存住宅だからこそ、何よりも安心してお住まいいただけるよう、物件探しから建物検査、リノベーション、アフターサービスまで、責任を持ってワンストップでサポートします。

■ ご自宅を売却したい方

現在のご自宅やご実家の売却をお考えの方に、お客様のご希望条件に合わせてさまざまなご提案をさせていただきます。サンヨーホームズによる買取にも対応。建物の劣化状態をしっかりと検査し、補修やリフォームで性能を向上させて次のご家族へと引き継ぎます。その他、住み替えや空き家の有効活用、相続のご相談など、あらゆるケースに応じてお客様にとって最適な解決をサポートします。

サン住まいリング



+ 住まいのドック
診断・保証・点検



HOPE-NET

全国の提携不動産会社と最新の物件情報を共有。データベースからお客様のご要望に合う物件をお探しします。



The Kitahama



サンメゾン共和ヒルズアベニュー



サンリーノ経堂 ザ・レジデンス

For your Best STAGE

サンヨーホームズのマンションづくり 「あなたの住まいのいちばん」を目指して。

エコ&セーフティをコンセプトとし、厳選した立地にあわせて、6つのスタイルと4つのカテゴリーでお客様のイメージを超える、住まいづくりを提案しております。

■ 6つのスタイル

サンメゾンの最上級クラス「ザ・サンメゾン」シリーズ
どこまでも我がままに。いつまでも優雅に。選ばれし大人達へ贈る、ハイグレードレジデンスの寛ぎ。

ファミリー向けマンション「サンメゾン」シリーズ
サンヨーホームズの代名詞ともいえる「サンメゾン」。その高い評価に応え今も進化をつづけています。

都市型コンパクトマンション「サンメイン」シリーズ
都市生活を思いのままに楽しみたい方へ。シングル層や二人住まい向けの都市型コンパクト分譲マンション。

安心のシニアマンション「サンミット」シリーズ
これからの人生を安心してイキイキしたものにするための新しい分譲マンションのスタイルです。

大規模・複合街づくり開発「サンフォーリーフタウン」シリーズ
生きがい、遊び、希望が街の中から住民の皆さまの絆から自然に湧き出てくるような新しい街づくり。

老朽化したマンションをリノベーション「サンリーノ」シリーズ
「エコ&セーフティ」を事業コンセプトとする企業として、既存住宅をリノベーションし、新たな価値を創造します。

■ 4つのカテゴリー

TOWER: 都心タワー型 GATE: 駅直結型
AVENUE: 総合開発型 ELDO: 環境調和型

受注高 **21,732** 百万円
前年同期比 Δ 14.9%

売上高 **28,449** 百万円
前年同期比 Δ 0.6%

THE SANMAISON
サンメゾンの最上級クラス
「ザ・サンメゾン」シリーズ



SAN MAISON
ファミリー向けマンション
「サンメゾン」シリーズ



安心のシニアマンション
「サンミット」シリーズ



SAN MINE
都市型コンパクトマンション
「サンメイン」シリーズ

ライフサポート事業

生涯を支えるパートナーとして、日々の暮らしをサポート。



安心で便利、健やかな毎日を支えるサービス。

■ マンション管理

マンションの日常管理から補修や補強工事まで

■ 暮らしサポート

ハウスクリーニング、家事・生活サポート、パソコンサポートetc

■ リハビリ施設・保育施設

リハビリ型デイサービス運営、保育園運営

■ 寄り添いロボット

シニアの暮らしを支援するロボットやサービスの開発、販売

売上高 **3,483** 百万円

前年同期比 **18.5%**

暮らしサービス



ハウスクリーニング



家事・生活サポート



庭木のお手入れサポート



パソコンサポート



オプションサポート
(会員サービス)

フロンティア事業

長年培った構造性能やエコ技術のご提供で社会に貢献。



蓄積した技術やノウハウを基礎に新規事業に。

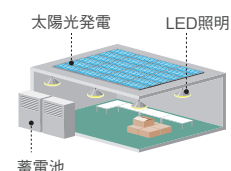
新会社サンヨーアーキテック株式会社を立ち上げ、2021年4月1日より営業開始。現在フロンティア事業部としてB to Bで販売している高品質な軽量鉄骨軸組構造「GSフレームシステム」を、施工とともに請負していくことでより事業の拡大を図ってまいります。また、太陽光発電システム「so-life」などの再生可能エネルギーに対する需要を材料+施工までを一貫して販売することで競争力強化につとめてまいります。

■ エコエネルギー事業

サンヨーホームズでは再生可能エネルギーの活用を中心とした総合的なご提案で、持続可能な社会の実現に貢献しています。

売上高 **429** 百万円

前年同期比 **36.1%**



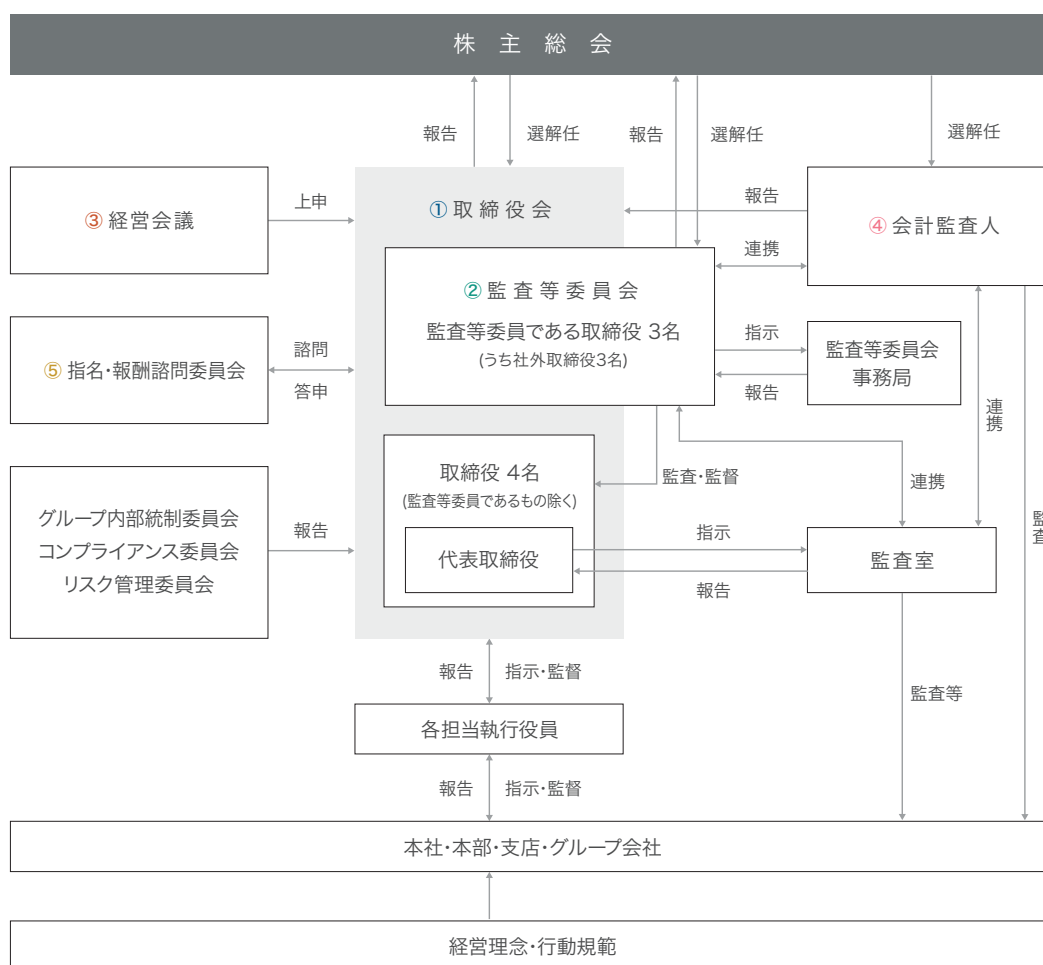
トータルソリューションで持続可能な社会を実現。

コーポレート・ガバナンスの取り組みに関する基本方針

当社グループは、経営理念を実践し、企業価値を高めるためには、健全な経営システムのもと、適時・適切な情報開示により経営の透明性を確保するなど、コーポレート・ガバナンスの充実が不可欠であると考えております。また当社では、「コンプライアンス」を社会に対する責任を果たすための大切な基礎として捉えており、その徹底が事業活動を継続していくうえでの不可欠の要件であると認識し、コーポレート・ガバナンスの強化とともに、グループのコンプライアンス経営を積極的に推進しております。

当社では、当社グループの役員及び社員があらゆる企業活動において守らなければならない行動基準として、さらにコンプライアンスを法令・社内規程等の遵守のみならず企業倫理を含めて広範囲に定義づけた行動を実践する行動基準として「行動規範」を定め、当該規範の啓蒙と継続的な教育により、当社グループの役員及び社員に周知しております。また、監査等委員である取締役、監査室及び会計監査人は緊密な連携を保つため、定期的な会合で情報交換を行い、監査の有効性、効率性を高めております。

コーポレート・ガバナンス体制図



役員紹介

(2021年6月24日の役員体制)

取締役会長	田 中 康 典	常務執行役員	世 良 守
代表取締役社長 社長執行役員	松 岡 久 志	常務執行役員	小 路 梅 之
取締役 副社長執行役員	美 山 正 人	常務執行役員	下 井 裕 史
取締役 専務執行役員	福 井 江 治	常務執行役員	今 川 鉄 也
取締役 監査等委員	藺 山 吉 輔	常務執行役員	寺 内 義 雄
取締役 監査等委員	高 山 和 則	常務執行役員	細 井 昭 宏
取締役 監査等委員	田 原 祐 子	常務執行役員	城 戸 雄 弘
		常務執行役員	松 尾 厚
		執行役員	川 俣 英 俊
		執行役員	川 本 洋 史

各会議体

① 取締役会

当社の取締役会は、取締役7名(監査等委員である取締役3名を含む)で構成されており、構成比は社内取締役4名及び社外取締役3名と、1/3以上を社外取締役に占めています。取締役会長を議長として毎月1回の定時取締役会を開催するほか、必要に応じて臨時に開催し、経営の基本方針や重要事項の決議及び取締役の業務執行状況の監査・監督を行っております。また、法令、定款に定められた事項のほか、経営状況や予算と実績の差異分析など、経営の重要項目に関する決議・報告を行っております。取締役(監査等委員である取締役を除く)の任期は、事業年度ごとの経営責任の明確化を図るために1年とし、毎年定時株主総会において取締役としての信任を問う体制としております。

② 監査等委員会

当社の監査等委員会は、監査等委員3名で構成されており、全員が社外取締役にあります。うち、高山和則を監査等委員会委員長とし、また監査等委員会事務局を設けることにより、取締役からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有並びに内部監査部門と監査等委員会との連携を図る体制としております。監査等委員は、取締役会への出席や内部統制システムを利用した取締役の業務執行の監査・監督の実施、内部監査部門報告や関係者への聴取などを実施しております。また、監査等委員会委員長である取締役1名は、重要な会議議事録等の閲覧、会計監査人から監査方針及び監査計画の聴取等を実施しております。

③ 経営会議

当社の経営会議は、業務執行取締役4名で構成され、代表取締役社長を議長として、原則として月1回開催しております。経営会議は、取締役会において、より慎重な審議を促進し経営効率を向上させるため、取締役会付議の事前審議を行うとともに、職務権限基準に則り、取締役会決議事項に次ぐ業務執行に関する重要事項に係る決議を行っております。

■ 内部監査

内部監査は監査室1名で、監査等委員会、会計監査人と連携し、会計監査、業務プロセス監査、コンプライアンス監査、特命監査等を実施しております。また、情報の共有、指摘事項対応策の水平展開を目的として、グループ内部統制委員会を開催し再発防止を図っております。

④ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツを選任しております。当社の会計監査を担当した業務執行社員は岡本健一郎、桂雄一郎の2名であり、継続監査年数は5年もしくは7年以内であり、同監査法人及び当社監査に従事する業務執行社員と当社の間には特別の利害関係はありません。会計及び内部統制監査にあたっては、経営情報を提供し、公正不偏な立場から監査が実施される環境を整備するとともに、監査等委員会、内部監査部門と連携し、会計監査、内部統制監査の実効性を高めるよう努めております。

⑤ 指名・報酬諮問委員会

当社は任意の委員会として、指名・報酬諮問委員会を設置しております。構成員は代表取締役社長 松岡久志を議長とし、取締役会長 田中康典、社外取締役 藺吉輔、社外取締役 高山和則、社外取締役 田原祐子であり、社内取締役2名及び社外取締役3名にて構成されております。同委員会は、取締役選解任案、執行役員選解任案及び取締役報酬案を審議し、取締役候補者、執行役員の推薦及び取締役(監査等委員を除く)報酬に対する意見等を代表取締役にに対し、また取締役(監査等委員)の報酬に対する意見等を監査等委員会に答申しております。それぞれの答申結果を踏まえ、取締役選解任案及び執行役員選解任案(取締役(監査等委員)分は監査等委員会の同意を得て)取締役会において決議します。取締役報酬案については、取締役(監査等委員を除く)分については取締役会から委任を受けた代表取締役が決定し、取締役(監査等委員)については監査等委員会にて決定しております。

■ その他委員会

会社法及び金融商品取引法の内部統制を統括する組織としてグループ内部統制委員会(構成員は取締役専務執行役員、総務部長、経営管理部長、監査室長、マンション事業本部管理部長、子会社2社管理部長)、コンプライアンスを統括する組織としてコンプライアンス委員会、リスク管理を統括する組織としてリスク管理委員会(構成員は双方ともに取締役専務執行役員、総務部長、住宅商品開発部長、監査室長、マンション事業本部管理部長、子会社2社管理部長)を設置しており、課題の抽出や共有、解決方法の立案等を行い、関係部門等へ指示、連絡を実行しております。また、年2回取締役会へ報告を行っております。

■ 責任限定契約

業務執行取締役でない取締役3名と責任限定契約を締結しております。なお、損害賠償責任の限度額は法令が定める額としております。

		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
財務情報					
売上高	(百万円)	44,088	39,669	40,884	57,939
営業利益	(百万円)	1,204	775	733	2,705
経常利益	(百万円)	1,109	509	496	2,479
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	563	118	261	1,389
減価償却費	(百万円)	93	104	179	168
研究開発費	(百万円)	—	167	142	144
総資産	(百万円)	32,747	41,298	46,198	46,640
純資産	(百万円)	11,980	12,098	12,359	15,076
自己資本	(百万円)	11,980	12,098	12,359	15,076
有利子負債残高	(百万円)	11,964	16,275	17,951	12,847
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	2,737	△2,128	△390	4,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	237	1,098	△1,269	160
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△3,876	4,310	1,674	△3,780
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,149	7,430	7,444	8,315
フリーキャッシュ・フロー	(百万円)	2,975	△1,030	△1,659	4,650
設備投資	(百万円)	—	211	347	390
1株当たり情報					
1株当たり当期純利益 (EPS)	(円)	53.45	11.19	24.78	110.61
1株当たり純資産額 (BPS)	(円)	1,135.57	1,146.76	1,171.54	1,194.66
1株当たり配当金	(円)	—	—	—	15
従業員数					
	(人)	672	668	694	732

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	52,804	47,720	55,504	54,117	53,888	56,351	53,487
	1,500	△55	1,517	1,894	1,434	412	782
	1,410	△76	1,554	1,911	1,544	415	872
	729	△297	972	1,243	954	359	509
	137	132	90	67	77	115	130
	123	150	96	102	122	104	93
	41,914	51,753	50,676	48,043	54,527	57,896	52,611
	15,630	15,183	15,817	16,943	17,570	16,498	16,922
	15,630	15,183	15,817	16,930	17,557	16,485	16,922
	13,617	23,710	23,590	16,400	21,820	28,444	23,399
	△4,775	△9,306	604	7,671	△3,789	△5,634	6,107
	579	△804	456	△236	△782	984	△106
	580	9,903	△484	△7,366	5,230	5,175	△5,137
	4,699	4,491	5,067	5,136	5,795	6,320	7,184
	△4,196	△10,111	1,061	7,435	△4,571	△4,649	6,001
	180	113	237	183	384	366	232
	57.82	△23.61	77.87	100.93	77.46	29.78	46.98
	1,238.53	1,203.13	1,284.70	1,374.32	1,425.21	1,537.65	1,531.73
	15	15	15	15	25	25	25
	737	750	712	697	760	848	884

会社概要	商号	サンヨーホームズ株式会社 (Sanyo Homes Corporation)
	創立年月日	1969年2月1日
	資本金	5,945,162,500円
	主な株主	株式会社LIXIL オリックス株式会社 関西電力株式会社 セコム株式会社
	登録	建設業許可番号: 国土交通大臣許可(特-3)第19226号 建築士事務所登録番号: 1級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第18657号 他 宅地建物取引業免許番号: 国土交通大臣免許(5)第6105号
	所属団体	一般社団法人 プレハブ建築協会 一般社団法人 住宅生産団体連合会

子会社

■ サンヨーリフォーム株式会社

住所 大阪市西区西本町1-4-1

事業内容 総合リフォーム事業(軽量鉄骨造、木造、鉄筋コンクリート造、重量鉄骨造等に対応)

戸建住宅の増改築、リフォーム工事全般、マンション・集合住宅のリフォーム工事、店舗・店舗付住宅のリフォーム工事・増改築、工場・事業用建物のリフォーム工事全般、高齢者対応リフォーム工事、門・塀・ガレージ・造園等外構工事全般、住まいのまるごと診断「住まいのドック」(戸建住宅)

事業所 本社、東京支店、中部支店、大阪支店、九州支店

■ サンヨーホームズコミュニティ株式会社

住所 大阪市西区西本町1-4-1

事業内容 マンション管理事業、ライフサポート事業、保育事業、介護事業

■ サンヨーアーキテック株式会社

住所 枚方市中宮大池3-30-1

事業内容 軽量鉄骨架構体のOEM供給事業(材工共で提供)、グループ内外からの建築工事の受託、太陽光発電、蓄電池などのエコエネルギー事業

関連会社 (非持分法適用)

■ e-暮らし株式会社

■ OKAMURA SANYO PROPERTY CORPORATION

株式の状況

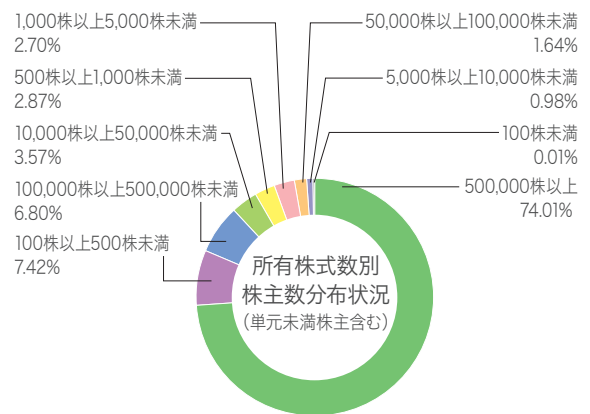
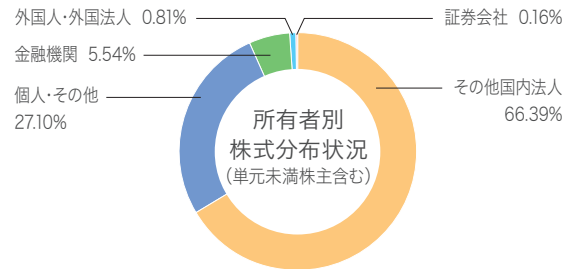
(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	12,620,000株
単元株式数	100株
株主数	9,832名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社LIXIL	3,100	27.41
オリックス株式会社	2,100	18.57
関西電力株式会社	1,530	13.53
セコム株式会社	1,300	11.49
株式会社日本カストディ銀行	528	4.67
株式会社クレディセゾン	154	1.36
サンヨーホームズ従業員持株会	152	1.35
中島 和信	126	1.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	118	1.05
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	54	0.48

(注) 1 当社は自己株式を1,309千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3 株式会社日本カストディ銀行が所有する当社株式528千株のうち、役員向け株式給付信託が所有する当社株式262千株については、連結財務諸表及び財務諸表において自己株式として表示しています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	毎年3月31日
配当金基準日	期末配当3月31日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
各種事務手続き	詳しくは、こちらのインターネットホームページにてご確認ください。 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.sanyohomes.co.jp ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ホームページのご紹介

当社の業績・IR活動に関する詳細につきましては、ホームページのIR情報をご覧ください。



<https://www.sanyohomes.co.jp/ir/>



SANYO HOMES

サンヨーホームズ株式会社

www.sanyohomes.co.jp 〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目4番1号 TEL 06-6578-3403